環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

第28期 報告書

2021年1月1日▶2021年12月31日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第28期（2021年１月１日から2021年12月31日まで）における当社の取組みと成果を、ご報告申し上げます。

当期は、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続するなかワクチン接種は進みつつあるものの、感染力の強い変異株が拡がり感染者数が再び急激な増加に転じる国が現れるなど、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況が続いております。

このような状況のなかでも、当社グループは、カーボンニュートラルを経営戦略の根幹に置いて事業展開を推進してまいります。すでに京浜支店においては石化燃料の使用を取り止め、ソーラーシステムによる太陽光発電によりヒートポンプを利用した脱炭素事業を開始し、2025年までには国内全支店及びマレーシア現地法人に展開する予定です。

カーボンニュートラルは企業が果たすべき重要な課題であり、わたしたちは世界の脱炭素社会への移行に全力を尽くして貢献してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、何卒一層のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年3月

代表取締役社長

松元　孝義

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、資源価格が高騰するなか海外需要の強さや供給制約の緩和に下支えされて製造業における企業の景況感の改善傾向が続いており、鉱工業生産指数が大幅に上昇するなど生産活動は急回復をしています。しかしながら、部品の供給制約が緩和した自動車の増産を背景に年後半にかけて輸出は大幅に回復したものの、それまでの売上の落ち込みをカバーするには至らず輸送企業の収益は大幅な減少となりました。

世界経済に目を向けますと、米国では、自動車・部品、航空機、食品等を中心に製造業の生産が復調しており、設備投資も堅調に推移しております。ユーロ圏においても同様に輸送機械の復調を受けて製造業の生産は増加しており、製造業PMIのサプライヤー納期指数も12月にかけて２カ月連続で大きく上昇しました。中国では、新興国向けには産業用機械や化学製品を中心に輸出が増加しており、ユーロ圏向けでは電気機器や産業用機械の輸出が好調でした。一方、米国向け輸出は、クリスマス商戦の需要が一巡したことにより繊維・玩具や電気機器を中心に増勢がやや鈍化しました。

このように環境が目まぐるしく変化するなか、本社、支店、海外現地法人が一丸となって営業活動を推進した結果、新規顧客を開拓して新たな取引を受注するなど取扱本数を

日本コンセプト株式会社　企業理念

1．わたしたちは、地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる輸送容器を活用した国際総合物流サービスを通じ、人類が未来永劫に亘り活躍できる社会の維持に貢献します。

2．わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有するボーダレスな国際総合物流カンパニーとして、高品質でお客様にご信頼いただけるサービスを、責任をもってご提供いたします。

3．わたしたちは、修練された技術のサービスをご提供するため、日頃より克己して研鑽に努めます。

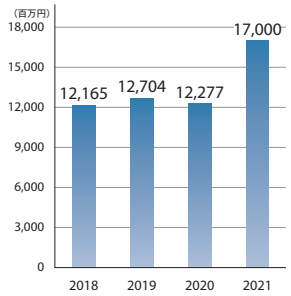
4．わたしたちは、広く社会全体に奉仕する公共性と豊かな国際性を備えた、社会に誇れる環境国際物流企業として邁進します。

世界規模で大幅に伸ばしております。またコンテナ船の需給逼迫により高騰する海上運賃やコンテナヤードの混雑に伴う運航スケジュールの変更・遅延に対しても船会社と積極的な交渉をしながら顧客ニーズに即応した営業体制を確立して評価を得ることができました。更に、国内取引においても、当社の国内支店網を活かしたビジネスを推進することにより、国内輸送等売上も前年度を大きく上回ることになりました。加えて、当社事業のもう一つの柱であるガスタンクコンテナビジネスにおいても、世界規模での営業活動を継続することにより通期の売上高を665百万円（前年度は497百万円）に伸ばしております。

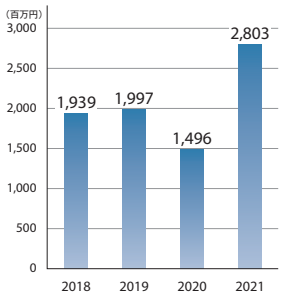
この結果、当連結会計年度における売上高は前年度を4,722百万円上回り、過去最高の17,000百万円（前年比38.5％増）を達成いたしました。費用に関しては、お客様の旺盛な輸送ニーズに積極的に応えるためにタンクコンテナを1,200基以上購入した結果、保有基数が大幅に増加（前年末比14.4％増）したことやコンテナ船の積載スペース逼迫等により、減価償却費やタンクコンテナリース料、海上運賃等の売上原価は3,281百万円増加（前年比35.0％増）して12,652百万円となりました。また、販売費及び一般管理費も1,544百万円と前年比9.5％増えております。一方、収益は売上げの伸びを上回って増加し、営業利益は2,803百万円（前年比87.4％増）、経常利益は2,720百万円（前年比87.6％増）といずれも過去最高を記録しております。

財務ハイライト（連結）

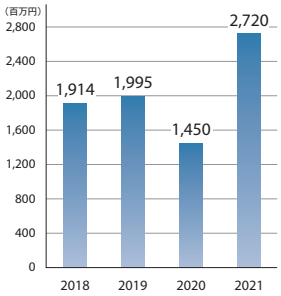
■売上高



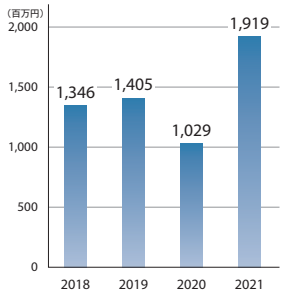
■営業利益



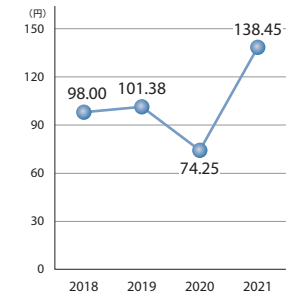
■経常利益



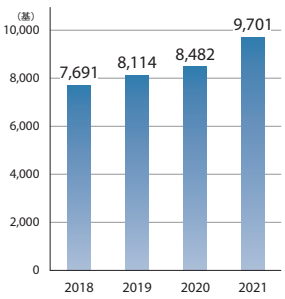
■親会社株主に帰属する当期純利益



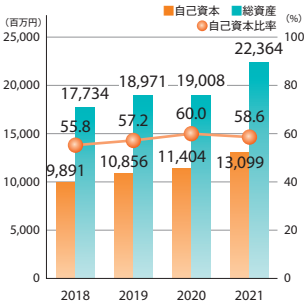
■1株当たり当期純利益



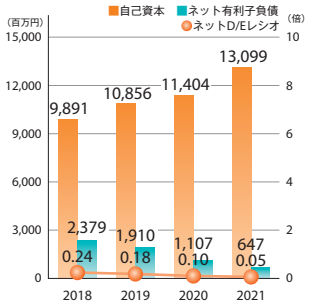
■タンクコンテナ保有基数



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※



※ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS

今後の海外戦略について

当社は、2021年6月に、株式会社商船三井（以下「MOL」）と商船三井ロジスティクス株式会社（以下「MLG」）の3社共同で、当社の海外代理店業務を統括する会社、MOL ロジスティクス・タンクコンテナ株式会社（以下「MLGTC」）を設立しました。

MLGTCの設立は、既に締結しているMOLとの資本業務提携の関係を一段と深化させ、タンクコンテナによる貨物輸送に関する営業面・オペレーション面での協業を、アジア域を手始めとしてグローバルに展開してゆくことを目的としております。

会 社 名：MOL ロジスティクス・タンクコンテナ株式会社
所 在 地：東京都千代田区神田駿河台四丁目3番
代 表 者：東郷 修平
設立時期：2021年6月
資 本 金：900万円
株　　主：当社 34%、MOL33%、MLG 33%



また、今般、当社の100%出資子会社NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.に加え、米国内14拠点に事務所を構えるMLGの現地法人と当社の高品質な化学品輸送サービスを組み合わせることにより、広大な米国の潜在顧客への接点を増やすと共に既存顧客へのきめ細やかなサービスを提供していきます。当社は、今後もMOL・MLGと一体となって、より安全で高品質かつストレスフリーな化学品輸送サービスをグローバルに提供していきます。アジア・米国に続き、将来的には業務提携エリアを欧州はじめその他全世界に拡大し、相乗効果の極大化を図っていきます。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION
×
MOL 商船三井
MOL 商船三井ロジスティクス

連結業績推移

区　分		第25期 (2018年12月期)	第26期 (2019年12月期)	第27期 (2020年12月期)	第28期 (2021年12月期)
売上高	(百万円)	12,165	12,704	12,277	**17,000**
売上総利益	(百万円)	3,398	3,513	2,906	**4,348**
営業利益	(百万円)	1,939	1,997	1,496	**2,803**
経常利益	(百万円)	1,914	1,995	1,450	**2,720**
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	1,346	1,405	1,029	**1,919**
純資産	(百万円)	9,891	10,856	11,404	**13,099**
総資産	(百万円)	17,734	18,971	19,008	**22,364**
1株当たり純資産額	(円)	713.24	782.85	822.39	**944.61**
1株当たり当期純利益	(円)	98.00	101.38	74.25	**138.45**
自己資本比率	(%)	55.8	57.2	60.0	**58.6**
自己資本当期純利益率	(%)	15.1	13.6	9.3	**15.7**
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,034	2,417	2,241	**2,546**
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 516	△ 68	△ 3,494	**628**
フリーキャッシュ・フロー	(百万円)	1,517	2,349	△ 1,252	**3,174**
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 166	△ 1,665	△ 1,425	**△ 1,253**

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第27期（2020年12月31日）	第28期（2021年12月31日）	増　減
【資産の部】			
流動資産（※1）	6,808	9,707	2,898
現金及び預金	4,835	5,990	1,155
売掛金	1,473	2,472	998
その他	499	1,245	745
貸倒引当金	△0	△1	△0
固定資産（※2）	12,200	12,657	457
有形固定資産	11,682	12,120	437
建物及び構築物（純額）	1,697	1,580	△116
機械装置及び運搬具（純額）	349	289	△59
タンクコンテナ（純額）	7,360	7,942	582
土地	2,195	2,195	—
建設仮勘定	30	69	39
その他	49	42	△7
無形固定資産	237	202	△34
投資その他の資産	280	334	53
資産合計	19,008	22,364	3,355

（単位：百万円）

科　目	第27期（2020年12月31日）	第28期（2021年12月31日）	増　減
【負債の部】			
流動負債（※3）	2,962	3,677	715
買掛金	766	1,151	384
短期借入金	190	110	△80
1年内返済予定の長期借入金	645	395	△249
リース債務	792	874	82
未払法人税等	165	638	473
その他	403	507	104
固定負債（※4）	4,641	5,586	945
長期借入金	1,673	1,797	124
リース債務	2,641	3,460	818
その他	326	328	2
負債合計	7,603	9,264	1,660
【純資産の部】			
株主資本	11,489	12,993	1,503
資本金	1,134	1,134	—
資本剰余金	1,060	1,060	—
利益剰余金	9,294	10,798	1,503
自己株式	△0	△0	—
その他の包括利益累計額	△84	106	191
純資産合計（※5）	11,404	13,099	1,694
負債純資産合計	19,008	22,364	3,355

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,898百万円増加（42.6%増）し、9,707百万円となりました。現金及び預金が1,155百万円、売掛金が998百万円増加したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ457百万円増加（3.7%増）し、12,657百万円となりました。建物及び構築物（純額）が116百万円、機械装置及び運搬具（純額）が59百万円、無形固定資産が34百万円減少したものの、タンクコンテナ（純額）が582百万円、建設仮勘定が39百万円、投資その他の資産が53百万円増加したことが主な要因です。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ715百万円増加（24.2%増）し、3,677百万円となりました。短期借入金が80百万円、1年内返済予定の長期借入金が249百万円減少したものの、買掛金が384百万円、リース債務が82百万円、未払法人税等が473百万円増加したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末に比べ945百万円増加（20.4%増）し、5,586百万円となりました。長期借入金が124百万円、リース債務が818百万円増加したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ1,694百万円増加（14.9%増）し、13,099百万円となりました。利益剰余金が1,503百万円増加したことが主な要因です。

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第27期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで	第28期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	増　減
売上高 (※6)	**12,277**	**17,000**	**4,722**
売上原価	**9,370**	**12,652**	**3,281**
売上総利益	**2,906**	**4,348**	**1,441**
販売費及び一般管理費	1,410	1,544	134
営業利益	**1,496**	**2,803**	**1,307**
営業外収益	73	36	△ 36
営業外費用	120	120	0
経常利益 (※7)	**1,450**	**2,720**	**1,269**
特別利益	3	0	△ 2
特別損失	1	19	17
税金等調整前当期純利益	**1,451**	**2,701**	**1,249**
法人税等	421	781	359
当期純利益	**1,029**	**1,919**	**890**
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,029**	**1,919**	**890**

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第27期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで	第28期 2021年1月1日から 2021年12月31日まで	増　減
営業活動による キャッシュ・フロー (※8)	2,241	2,546	304
投資活動による キャッシュ・フロー (※9)	△ 3,494	628	4,122
フリーキャッシュ・フロー	△ 1,252	3,174	4,427
財務活動による キャッシュ・フロー (※10)	△ 1,425	△ 1,253	171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 26	83	110
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 2,704	2,004	4,709
現金及び現金同等物の期首残高	4,135	1,430	△ 2,704
現金及び現金同等物の期末残高	1,430	3,435	2,004

連結株主資本等変動計算書（要約）　第28期（2021年1月1日から2021年12月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2021年1月1日残高	**1,134**	**1,060**	**9,294**	**△ 0**	**11,489**	**△ 1**	**△ 83**	**△ 84**	**11,404**
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 416		△ 416				△ 416
親会社株主に帰属する当期純利益			1,919		1,919				1,919
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						0	190	191	191
連結会計年度中の変動額合計	**—**	**—**	**1,503**	**—**	**1,503**	**0**	**190**	**191**	**1,694**
2021年12月31日残高	**1,134**	**1,060**	**10,798**	**△ 0**	**12,993**	**△ 0**	**107**	**106**	**13,099**

※6　新規顧客を開拓して新たな取引を受注するなど取扱本数を世界規模で大幅に伸ばし、当連結会計年度における売上高は前年度を4,722百万円上回り、過去最高の17,000百万円（前年比38.5%増）を達成いたしました。

※7　お客様の旺盛な輸送ニーズに積極的に応えるためにタンクコンテナを1,200基以上購入したことやコンテナ船の積載スペース逼迫等により、減価償却費やタンクコンテナリース料、海上運賃等の売上原価が増えたものの、収益は売上げの伸びを上回って増加し、経常利益は2,720百万円（前年比87.6%増）と過去最高を記録しております。

※8　営業活動の結果得られた資金は、2,546百万円（前期は2,241百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益2,701百万円、減価償却費1,328百万円であり売上債権の増加額934百万円が主な減少要因です。

※9　投資活動の結果得られた資金は、628百万円（前期は3,494百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は定期預金の純減額855百万円であり、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出191百万円です。

※10　財務活動の結果支出した資金は、1,253百万円（前期は1,425百万円の支出）となりました。主な資金の増加要因は長期借入れによる収入560百万円であり、主な資金の減少要因は、短期借入金の純減額80百万円、長期借入金の返済による支出685百万円、リース債務の返済による支出634百万円、及び配当金の支払額414百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	192名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた国際物流業
事業内容	・反復利用可能なタンクコンテナを活用した、サステナブルなトータルソリューションの提供 ・化学品をはじめとした各種の液体や高圧ガスの国際複合一貫輸送 ・タンクコンテナを活用した貨物の保管、加温、移し替え ・タンクコンテナのリース、メンテナンス、法定検査 ・フロンガスをはじめとした各種ガスの保管、回収、再生、無害化 ・残留貨物の適正な処分
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、 みずほ銀行、商工組合中央金庫、 日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地（2022年3月31日現在）

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店 京葉臨海高圧ガス事業所	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店 神戸営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店 阪神営業所	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号

■ 役員（2022年3月31日現在）

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
常務取締役	若園　三記生	取締役監査等委員	樋川　浩造
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	幸地　秀樹	社外取締役監査等委員	東郷　修平

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	4,501 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
松元　孝義	2,933,000
株式会社商船三井	2,080,300
山中　康利	1,341,300
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	973,000
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	637,700
有限会社エスアンドアール	600,000
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	494,900
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	313,977
株式会社三菱UFJ銀行	300,000
株式会社三井住友銀行	300,000
有限会社エムアンドエム	300,000

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 https://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915